



国民と自衛隊との架け橋！

隊 友

湘南支部ニュース

令和7年10月号 (No.264)

発行責任者

公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会

湘南支部長 中尾 剛久

茅ヶ崎市赤羽根 2661-26

Tel: 090-4897-4074

「部隊研修について」(その2)
湘南支部長 中尾 剛久

隊友会をはじめとする自衛隊の協力・支援団体として、研修等を通じて部隊の実情を知り、理解を深めることは大切なことだと思いますが、先月号でも述べましたとおり、その機会が確保しづらくなつてきているのも現実です。会員の皆様の中に施した部隊研修等の状況を適宜紹介することも、また有益ではないかと思います。

実は別のO B団体が計画した部隊研修の時に、ある部隊長から「部隊の現状を是非部外にも発信してもらいたい」との要望がありました。隊友会は純然たる部外とも言えませんが、今回はその時の様子を紹介したいと思います。

訪問したのは陸上自衛隊旭川駐屯地に所在する第二師団司令部と陸上自衛隊名寄駐屯地に所在する第三即応機動連隊等及び稚内基地に所在する陸海空の各部隊でした。陸上自衛隊第二師団は「北鎮師団」の異名を持ち、我が国北端に位置する北海道のさらに北部を担当区域とし、その面積は北海道全体の約三割（四国の1・5倍）にも及びます。陸上自衛隊の中でも最大級の師団ですが、「北鎮師団」のほかにも特徴的な性格を持っています。「機動師団」、「先進師団」、「国際任務待機部隊」などと称されている

ようです。特に、「先進師団」として陸上自衛隊のドクトリン開発や戦術開発、装備品開発に係る業務に

間との差がどうしても目立つてしまふと感じました。

翌日は旭川駐屯地に隣接する「北鎮記念館」を研修後、名寄駐屯地を経て稚内までバスで移動しました。

「北鎮記念館」は陸上自衛隊内で唯一の存在として知られています。旭川駐屯地内で師団が装備し、また試験運用等を実施している各種装備品の展示がありましたが、先日研修した「りつくんランド」を凌ぐ種類の装備品が並び、中には第二師団しか装備していないというのも複数ありました。陸上自衛隊の新装備品は、まず第二師団に配備され、戦術開発や実運用上のデータ収集等を実施しているとの

ことでした。

陸上自衛隊で最大級の師団である第二師団ですが、「人」の問題では苦労しているようです。まず、師団全体の人数が一九九〇年時点に比較して約三割減少したとのことです。また、新隊員陸士の第二師団への補充数も、北部方面隊管内で試行されている新入隊員の任地希望制度の影響もあり、一九九〇年に比較して約八割減少しているとのこ

とでした。実際の数字を聞くと驚くべきものでした。懇親会の席上でも師団長は繰り返し人材確保のための施策の必要性を強調していました。やはり、手当や俸給などの待遇改善や生活環境の整備が喫緊の課題のことでした。来年度予算の概算要求でも待遇改善や生活環境整備には配慮されているようですが、人手不足は日本全体の話であり、民

間との差がどうしても目立つてしまふと感じました。

翌日は旭川駐屯地に隣接する「北鎮記念館」を研修後、名寄駐屯地を経て稚内までバスで移動しました。

「北鎮記念館」は陸上自衛隊内で唯一の存在として知られています。旭川駐屯地内で師団が装備し、また試験運用等を実施している各種装備品の展示がありましたが、先日研修した「りつくんランド」を凌ぐ種類の装備品が並び、中には第二師団しか装備していないというのも複数ありました。陸上自衛隊の新装備品は、まず第二師団に配備され、戦術開発や実運用上のデータ収集等を実施しているとの

ことでした。

陸上自衛隊で最大級の師団である第二師団ですが、「人」の問題では苦労しているようです。まず、師団全体の人数が一九九〇年時点に比較して約三割減少したとのことです。また、新隊員陸士の第二師団への補充数も、北部方面隊管内で試行されている新入隊員の任地希望制度の影響もあり、一九九〇年に比較して約八割減少しているとのことでした。実際の数字を聞くと驚くべきものでした。懇親会の席上でも師団長は繰り返し人材確保のための施策の必要性を強調していました。やはり、手当や俸給などの待遇改善や生活環境の整備が喫緊の課題のことでした。来年度予算の概算要求でも待遇改善や生活環境整備には配慮されているようですが、人手不足は日本全体の話であり、民

間との差がどうしても目立つてしまふと感じました。

翌日は旭川駐屯地に隣接する「北鎮記念館」を研修後、名寄駐屯地を経て稚内までバスで移動しました。

「北鎮記念館」は陸上自衛隊内で唯一の存在として知られています。旭川駐屯地内で師団が装備し、また試験運用等を実施している各種装備品の展示がありましたが、先日研修した「りつくんランド」を凌ぐ種類の装備品が並び、中には第二師団しか装備していないというのも複数ありました。陸上自衛隊の新装備品は、まず第二師団に配備され、戦術開発や実運用上のデータ収集等を実施しているとの

ことでした。

陸上自衛隊で最大級の師団である第二師団ですが、「人」の問題では苦労しているようです。まず、師団全体の人数が一九九〇年時点に比較して約三割減少したとのことです。また、新隊員陸士の第二師団への補充数も、北部方面隊管内で試行されている新入隊員の任地希望制度の影響もあり、一九九〇年に比較して約八割減少しているとのことでした。実際の数字を聞くと驚くべきものでした。懇親会の席上でも師団長は繰り返し人材確保のための施策の必要性を強調していました。やはり、手当や俸給などの待遇改善や生活環境の整備が喫緊の課題のことでした。来年度予算の概算要求でも待遇改善や生活環境整備には配慮されているようですが、人手不足は日本全体の話であり、民

間との差がどうしても目立つてしまふと感じました。

翌日は旭川駐屯地に隣接する「北鎮記念館」を研修後、名寄駐屯地を経て稚内までバスで移動しました。

「北鎮記念館」は陸上自衛隊内で唯一の存在として知られています。旭川駐屯地内で師団が装備し、また試験運用等を実施している各種装備品の展示がありましたが、先日研修した「りつくんランド」を凌ぐ種類の装備品が並び、中には第二師団しか装備していないというのも複数ありました。陸上自衛隊の新装備品は、まず第二師団に配備され、戦術開発や実運用上のデータ収集等を実施しているとの

ことでした。

陸上自衛隊で最大級の師団である第二師団ですが、「人」の問題では苦労しているようです。まず、師団全体の人数が一九九〇年時点に比較して約三割減少したとのことです。また、新隊員陸士の第二師団への補充数も、北部方面隊管内で試行されている新入隊員の任地希望制度の影響もあり、一九九〇年に比較して約八割減少しているとのことでした。実際の数字を聞くと驚くべきものでした。懇親会の席上でも師団長は繰り返し人材確保のための施策の必要性を強調していました。やはり、手当や俸給などの待遇改善や生活環境の整備が喫緊の課題のことでした。来年度予算の概算要求でも待遇改善や生活環境整備には配慮されているようですが、人手不足は日本全体の話であり、民

キナのゲストハウスを拠点に、さらに50Km先のマツンケイを2往復する現地調査でした。

タロキナでは4日滞在しましたが、電気の無い村です。それが意味することです。つまり、食材等を保存する機能は無いということです。それでも、熱帯雨林ジャングルにはバナナ、ココナツなど自然の豊かな実りがあり、必要なものを、必要なだけ自然からの恵みをいただく。つまり「足ることを知る（吾唯足知）」

と獲得しているそうです。展示内容も、屯田兵の時代から旧陸軍の第七師団関連の展示を経て陸上自衛隊の第二師団に至る、軍都と言われる旭川の歴史がよくわかるものでした。説明を担当してくれた現役の陸上自衛官も滑らかな説明ぶりでした。アニメ「ゴーリーデンカムイ」の舞台であることから聖地巡礼の観光客が増えており、小中学生を対象とした夏休みの自由研究サポートイベント等が功を奏し、募集対象者の来館者も増えているとのことです。これらが少しでも募集に繋がればいいなと思います。

の舞台であることから聖地巡礼の観光客が増えており、小中学生を対象とした夏休みの自由研究サポートイベント等が功を奏し、募集対象者の来館者も増えているとのことです。これらが少しでも募集に繋がればいいなと思います。

の舞台であることから聖地巡礼の観光客が増えており、小中学生を対象とした夏休みの自由研究サポートイベント等が功を奏し、募集対象者の来館者も増えているとのことです。これらが少しでも募集に繋がればいいなと思います。

過ごす人々から、翌日の我々の海路（復路）の安全を祈る歌と踊りの村人総出のおもてなしを受けました。そして村を出立する翌払暁、それまでに描いてくれたスケッチチブツクを私にお礼として手渡されたのです。私は、ただ、感激するばかりでした。その心遣いと、そこに描かれた数々の絵画そのものに対しても感激する。

帰国後、私は、それらを、かつて八戸の勤務を通して繋がった岩手県・久慈市にある「芸術村あーとびる麦生（むぎよう）」の理事長に観ていただきました。芸術の専門家である熊谷理事長は、その絵画にまづ驚かされました。そのような経緯を

経て、今年7月から11月まで、「パパニユーギニアのこどもたち別展」としての開催に至った次第です。

